

# わがまちまごめ

## 馬込管内世帯人口数

(令和5年10月1日時点)

- ・世帯数 31,277
- ・人口(男) 28,045
- ・人口(女) 28,904
- ・人口(計) 56,949

発行 地域力推進馬込地区委員会  
 事務局 馬込特別出張所  
 〒143-0027 大田区中馬込3-25-5  
 ☎(3774)3301(代)  
 ホームページアドレス(大田区役所大森地域)  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

## 馬込のまちかど

### あちらこちら

#### 馬込駅近くのふれあい銅像



スーパード、保育園、病院等のある商業施設MOA馬込の横の階段に設置されている銅像をご存じですか？

以前裸婦の銅像がありました。新しくビルを建てるにあたって、株式会社博栄代表取締役綱島桂子さんが、通る人達の気持ちが明るくなるような銅像が良いと考えたそうです。馬込に因んで仔馬の像が良いのではないかと、馬の銅像作家さん色々と探し、富山の田畑功先生にお願いしました。そして、仔馬だけではなく小鳥を手に乗せた小さな女の子も加わり、現在の銅像となりました。

環状七号線に面した階段ですので、散歩、地下鉄ご利用の際には、是非かわいい銅像を知っていただけたらと思います。

#### シクラメンゆかりの里の石碑

中馬込宮ノ下公園の片隅に「シクラメンゆかりの里」と書かれた石碑があります。

石碑の裏側にはシクラメン栽培が盛んになった簡単な経緯や、栽培に尽力された方々の氏名が刻まれ、また数々の受賞について紹介されています。詳しい話を求めて、現在もシクラメン栽培をしている「馬込シクラメン園」の波田野章さんに栽培の歴史や石碑建立の経緯についての話をお聞きしました。



シクラメン栽培の始まりは昭和28年頃で、当時農家では、野菜や菊が主な生産物でした。

波田野さんはあるとき鉢植えのシクラメンの美しさに興味をもち、当地でも栽培できるのではと思い試行錯誤を繰り返して挑戦したそうです。

個人だけでなく「馬込園芸研究会」7名の方と協力しながらより優良な品種の改良に取り組みました。

昭和40年に「冷涼育苗栽培法」を取り入れました。夏季の高温時に涼しい場所で育苗栽培をして開花を促進する方法です。その結果需要の多い暮れの時期に最も開花することを発見し、現在もその方法で栽培を続けているそうです。

これらの成果を全国に広めるため各種の品評会に出品し、数々の賞を受けました。

卓越した栽培技術により、優雅で、市場性も高い「馬込のシクラメン」。

石碑の建立は、全国に広めた功績と偉業を後世に残すために造られたそうです。

#### 富士講燈籠の道しるべ

白田坂に向かうバス通りの馬込南台交番前の信号を左(東側)に曲がり、道なりにしばらく進んだ左側角に、馬込の富士講の人びとによって江戸時代後期の文政七(1824)年に建てられた富士講燈籠があります。この燈籠は大田区の文化財になっていて、目にされた方も多いと思います。

燈籠台石の正面右側、バス通りからの道に面して、江戸時代当時の道しるべが刻まれています。植木があつてちよつと見にくいのですが、中心に

「馬込村」の文字があり、右側に「北品川道」、左側に「南池上道」とあります。

バス通りから来るこの道は、まもなく北野神社前の坂道を下って、現在の馬込銀座交差点近くを抜けて、大井の出石から品川へと通じる古くからの街道でした。反対側はバス通りを渡った側、旧字名の中井を通過して、池上方面へと向かいます。

「富士講」は富士山をあがめる民間信仰で、馬込の富士講は江戸時代から昭和30年代まで続いています。

ちよつと気をつかないところに残る江戸時代の痕跡ですが、昔の馬込へと私たちが誘ってくれる、貴重な「時代の忘れもの」です。



# 祭りだ！祭りだ！ 馬込の祭りだ！！

九月九日、十日に馬込八幡神社の祭礼が行われました。それに伴いほとんどの町会では四年ぶりにほぼ従来の祭礼が復活しました。



## ◎南馬込中和会

南馬込中和会は、昨年はコロナのため飲食を控えたり規模を縮小して開催していましたが今年はおきき氷、生ビールの販売なども復活し、金魚つり、輪投げ、宝釣り、射的などに多くの親子が参加しました。夜は子ども時間と大人時間に分けて盆踊りを行いました。子どもの盆踊りに「ジャンボリミッキー」を新たに加えたところ、子どもばかりかお父さんお母さんたちも一緒に飛び跳ねて大層盛り上がりしました。



## ◎中馬込宮ノ下町会

四年ぶりのお祭り開催とあって、役員の人達は準備の手順を思い出すのに大変だったようです。元役員の方にも来てもらい教えてもらったりと忙しかったようです。

特に宮ノ下町会伝統とも言える藤の花作りは、かなり大変だったようです。白い小さな紙に、赤色、青色でそれぞれ縁を染め、紅白の水引きに取り付けてつり下げます。それを神酒所天井に飾ると、まるで藤の花のようになります。

また、九日、十日の午後二時から山の山車おみこしの巡行にも、沢山のお子さん、親御さんが参加しました。今年はおみこしを担ぐ子ども達全員に着せたハッピも好評でした。



夜には町会事務所隣の宮ノ下公園で以前と変わらない焼きそば、ポテト、餃子等数種類を格安で販売し大盛況でした。無事に二日間を終えたことに、かかわった人達全員がホッとしました。

## ◎北野神社

北野神社の祭礼では、四年ぶりに大人みこしと子どもみこし、山車の町内巡行が行われました。大人も子どもも汗びっしょりの暑い一日でしたが、熱中症にもならず無事、神社へと戻りました。



前日の宵宮では、夜の行事のため、馬込第二小・馬込東中の児童生徒の演芸参加は行われませんでした。境内の模擬店やビンゴゲームで盛り上がりしました。

## ◎馬込平張町会

空白の4年の間に役員顔ぶれも入れ替わりしました。その分、馬込第二小PTA校外部から6名、平張地域サポートメンバー4名の応援を得て、活気溢れる祭礼となりました。特に綿菓子、かき氷、輪投げ、ヨーヨー、スパーポールすくい等子ども達の長い行列は圧巻で、コロナ以前を上回る賑やかさでした。

## ◎馬込西二稲荷のみこし



## 馬込情報

### ◎9/18 敬老の日の報告

馬込特別出張所管内の88歳(米寿)および100歳の方に、大田区、大田区社会福祉協議会からお祝いがありました。88歳の方、男性103名、女性180名でした。100歳の方、男性2名、女性12名の、合わせて14名の方でした。なお、大田区最高齢112歳の方は久が原地区でした。

### ◎9/23 第30回まごめ園幸陽祭



### ◎馬込月見まつり

令和5年9月28日～10月1日の4日間、新馬込橋にて馬込小、馬込第三小の5・6年生の俳句パネル展示されました。



### ◎10/12 地域力推進委員会施設見学会

各町会から選出された地域力推進委員の方々が、茨城県水戸弘道館などの施設見学に参加しました。

### ◎龍子記念館 (TEL 3772・0680)

高橋龍太郎コレクション連携

企画「川端龍子プラスチック 濱田樹里・谷保玲奈―色彩は踊り、共鳴する」  
展示期間…《前期》令和5年10月21日(土)～12月3日(日)《後期》令和5年12月9日(土)～令和6年1月28日(日)

●地域連携企画展「川端龍子の作品とともにみる 大田区美術家協会の現在」展示期間…令和6年2月10日(土)～3月3日(日)

●熊谷恒子記念館 (TEL 3773・0123)  
●施設の延命化工事延長のため  
令和6年9月30日まで臨時休館

### ◎馬込図書館 (TEL 3775・5401)

「馬込文士村展示」隔月で入替(詳細は馬込図書館まで)  
◎郷土博物館 (TEL 3777・1070)

●企画展「花香る おおたの梅林」愛でられる花々～令和6年1月23日(火)～3月17日(日)

●企画展関連展示「新版画で春を寿ぐ」令和6年1月23日(火)～3月17日(日)

●特集展示「森本六爾、おおたの横穴墓を掘る」令和6年1月23日(火)～3月末(予定)

## 編集後記

馬込には歴史を伝えるものが多いです。今回も石碑と燈籠を取り上げました。散歩の途中に立ち寄って、昔の馬込に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

四年ぶりの今年のお祭りには多くの人が集まり、大変盛り上がりしました。自粛で抑えていた四年間のエネルギーが溢れ出たかのよう。日常を求める気持ちには大河の流れのような勢いを感じます。